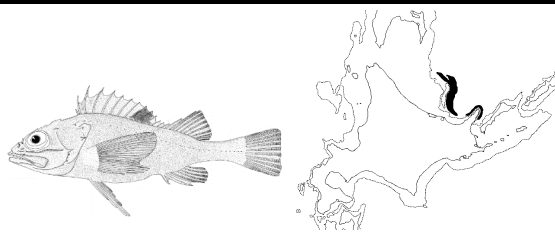


31.キチジ

主な漁業と漁期
 きちじはえ縄、きちじ刺し網
 (結氷期を除く周年)



オホーツク海海域

生態

◆分布・回遊

オホーツク海南西部の大陸棚斜面に分布し、北見大和堆の群の多くは、ロシア水域から南下回遊してくると考えられます。この群の一部は、年を経るごとに知床岬周辺や、太平洋側まで移動した記録もありますが、一方で、ほとんど移動しないものもいるとされています。

◆産卵期・産卵場

- ◎産卵期は4～5月頃と推定されます。
- ◎産卵直前の個体はみられますが、極めて少ないため、産卵場は特定されていません。
- ※卵は浮遊性の卵塊として産み出されます。

◆成長・成熟

年齢・成長に関しては不明です。
 参考として耳石輪数-体長・体重の関係を示します。

	平均体長 (cm)	平均体重 (g)		平均体長 (cm)	平均体重 (g)
2輪	15	88	8輪	21	291
3輪	16	106	9輪	22	335
4輪	16	115	10輪	22	349
5輪	18	163	11輪	24	447
6輪	18	179	12輪	24	461
7輪	20	249	13輪	24	483

*) 平成21年度網走水産試験場事業報告書
 *) 加齢の基準日：1月1日

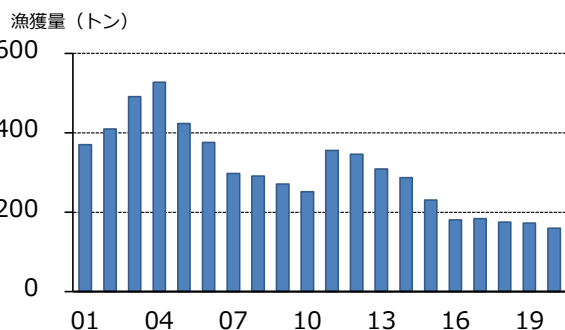
- ◎成熟年齢
 成熟年齢および体長に関しては不明です。

資源評価

[評価年] 1月～12月

[来遊水準の指標] はえなわCPUE

2020年度の漁獲量は160トンで、前年とほぼ同等でした。2020年度の当海域への来遊水準は、低水準と判断されました。当海域で道内漁船が漁獲しているものは、資源の一部であると考えられ、全体の資源状況が不明であるため、翌年にかけての来遊水準は不明と判断されました。



2020年度
 の水準



低水準

2021年度
 の動向



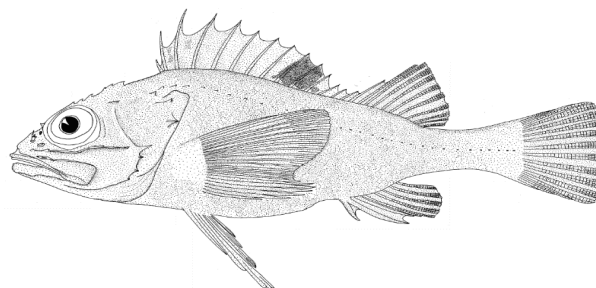
不明

道総研が受託している国の資源評価調査のデータも利用して評価しています。

資源の維持・増大のために！

資源管理の現状(主なもの)

許可の制限条件で隻数、漁具数の制限を定めています。



☆またがり資源のため、来遊状況を注視し、持続的に資源を利用していくことが重要です。

問い合わせ先

北海道水産林務部水産局漁業管理課資源管理係
 北海道立総合研究機構 網走水産試験場調査研究部

電話 011-204-5477

電話 0152-43-4592